

# 熊本県青年会館の歩み（10年以降）

- 平成4年10月1日 深田村との土地貸借契約の締結（熊本県青年会館分館建設用地）
- 平成5年2月14日 熊本県青年会館分館が、球磨郡深田村に完成。木造瓦葺平屋 224 m<sup>2</sup>  
本体 28,119,000 円 備品 711,545 円 運営基金 10,000,000 円  
球磨郡青年団協議会との使用貸借契約を締結する。
- 4月20日 2階ホール音響設備の改修実施（379万円）
- 4月24日 オープン10周年記念式典を挙げる。
- 7月ー平成6年3月 タイ青年農業研修生の長期受入（平成6・7年度も継続）
- 7月 2日 県青年団運動史編纂委員会設置し、県青年団運動史編纂をスタート。
- 10月19日 県青年団史編纂作業委員会設置
- 11月21ー28日 熊本青年代表タイ訪問4名
- 平成6年3月27日ー4月3日 タイ青年を熊本に受入 5名
- 8月8ー21日 会館2階ホール他の改修（2,853万円）
- 10月6日 青年問題研究会の設置し、青年団、青年団体活動の実態と課題分析を開始する。
- 11月20ー27日 熊本青年代表タイ訪問7名
- 平成7年2月12ー19日 タイ青年代表の熊本訪問 8名
- 11月19ー26日 熊本青年代表タイ訪問5名
- 平成8年 2月4ー13日 タイ青年代表の熊本訪問 5名
- 3月31日 青年関係書の発刊
- ・県下青年団実態調査、青年団員意識調査報告書
  - ・青年グループヒヤリング結果報告書
  - ・熊本県青年問題研究会報告書
  - ・青年団リーダーの手引き「21世紀への青年団運動」
- 5月 館内事務・設備機器の整備（752万円）
- 6月 会館外壁改修工事（1,287万円）
- 9月10ー23日 ヨーロッパ青年団体活動視察訪問 3名派遣  
ドイツ、デンマーク、スウェーデン、イギリス
- 12月8日 熊本県青年団発足50周年記念式典を挙げる。  
熊本県青年団運動史出版祝賀会
- ・熊本県青年団運動史の発刊（1,148万円）
- 「熊本の青年団運動」一戦後50年の歩みー
- 平成9年10月 1日 会館のホームページを開設
- 11月29日 球磨郡青年会館での役員研修
- 平成10年2月12日 会館運第四次五カ年計画を決定する。
- 5月 1日 会館屋根防水の改修（2,101万円）
- 8月10ー23日 熊本青年代表のタイ訪問 1名派遣
- 10月1日 ユースホステル施設として登録。日本ユースホステル協会に加盟。
- 平成11年3月7日 国際理解作文コンクールの共催をスタート（留学生部門他を担当）。

- 5月1日 視聴覚機器・机・椅子・パソコン整備（1,376万円）
- 平成12年5月1日 空調設備（熱源設備の交換）の改修（1,643万円）
- 7月22日 会館将来構想策定委員会を設置  
収益事業委員会、公益事業委員会の設置
- 平成13年5月1日 洗面所・トイレ・音響設備等の改修（631万円）  
レストラン直営をスタートする。
- 7月14日、12月23日 「未婚男女の出逢いの会」を開催する。
- 10月28日 熊本青年フォーラム（熊本新世紀フォーラム）を開催する。
- 平成14年8月30日 内田憲雄理事長の逝去に伴い、新理事長に鳥居憲太郎が就任。
- 平成15年3月8日 会館将来構想、会館運営第5次5カ年計画を策定する。  
会館の愛称・マスコットデザインを公募の結果、決定する。
- 5月24日 会館オープン20周年記念式典を挙げる。
- 9月20-21日 城北地区地域活性化セミナー（鹿本・菊池地区）開催  
福村三男菊池市長、津留今朝寿（フリーライター）の講師
- 平成16年9月 熊本県金澤和夫副知事との県政懇談会を開催。
- 12月10日 県青年団OB直江定信熊本県教育委員との教育懇談会を開催。
- 3月13日 第20回記念国際理解懸賞作文コンクールの表彰式を開催。  
第20回記念「世界の中の私IX」特集号発刊。
- 平成17年7月9日 葦北郡青年団OBとの会館運営懇話会を開催  
大石文夫県青年団OB会会長の講演、福田農場を見学
- 9月14日 外国青年研修生受入・青少年施設経営の寄附行為改正。
- 平成19年1月27日 第50回熊本県青年問題研究集会を開催する。
- 5月10日 レストラン内の空調設備の改修を実施する。
- 11月17日 玉名ブロックにて会館運営懇話会を開催。島津勇典玉名市長による講話・交流会。
- 平成20年3月20日 会館運営第6次5カ年計画を策定する。
- 6月10日 近隣対策を含め、館内テレビ・アンテナ設備新システム導入。
- 6月14日 会館オープン25周年記念式典を挙げる。